

認知科学概論 課題 1

学籍番号 200911434

名前 青木大祐

2013 年 4 月 19 日

身近な道具・機器・システムにおいて、使用中に経験した失敗（ヒューマンエラー）あるいは、気づいた問題。人の認知的特性がその要因の 1 つになっている例を 1 個あげて説明せよ。

- 対象，使用状況，問題・失敗の流れ，その結果を説明
- 授業（他の授業も）にて取り上げたものは対象外
- 独自の観点，一般に気づきにくい問題，より高く評価

運用が開始された Twins の新システムにおいて、「科目番号検索」に不可解な仕様がある。ポップアップした科目番号検索ウィンドウのフォームに検索条件を入力した上で検索を行うと、その条件にマッチした講義の一覧が表示されるが、親ウィンドウで現在開いているモジュール（A、B または C）のペインと合致しない開講時期の講義が履修登録できずエラーと表示される。例えば、「春学期 A」のペインを開いた状態で、検索条件「春学期」で検索結果として表示されるもののうち春学期 C に開講されるものを登録しようとする以下のようなエラーが表示される。

履修登録エラーです 内容を確認して下さい
該当モジュールでは履修登録できません。（）

これは人間の直感に反する挙動であり、仕様に問題があると考えられる。「従えない標識」の例と同様に、表示されている指示（を見て予想される結果）と、実際に実行した時の結果が合致しない状態である。開講時期が一覧には表示されているが、通常の間人は検索結果に表示されている以上は登録できると考えるのが一般的である。加えて言うならば Twins の旧システムでは可能な操作であった。間違ったモジュールの講義を登録しないようにという配慮であるなら、登録時に警告を出すなどの方法があったはずで、このような実体に則さない上に、解決のための何の情報も得られないエラーメッセージを出すというデザインは「使いやすさの要因」の「エラー」「主観的満足度」において致命的な欠陥であると言える。